

私保協だより

2025
vol.70

発行：広報委員会

武田 修子
上園 陽

職員福利厚生事業 大忘年会開催



TOPICS

令和6年11月30日(土)
@ANAクラウンプラザホテル広島
広島市私立保育協会主催 福利厚生事業 大忘年会

令和7年1月16日(木)
@ 保育所まこと学園
青年会議委員会 園見学研修 インタビュー

令和6年度 職員福利厚生事業 大忘年会

2024年11月30日
@ANAクラウンプラザホテル

令和6年11月30日(土)、今年も私保協大忘年会が、広島市長松井一實様ご隣席のもと、ANAクラウンプラザホテル広島にて盛大に開催されました。まずはじめに、松井市長よりご挨拶をいただきました。広島として日本としてどういう施策に取り組んで行くべきかなど、大変励みになるお言葉を賜りました。会が和やかに始まり、しばらくして、保育運動のPRがありました。保育運動に掲げている「新しい時代は子どもから」のテーマソングである『ちきゅうのこども』という歌を全員で踊り、会場全体が一つになりました。



に関連するこどもたちの写真を募集し、大忘年会の中で表彰式が行われました。

- ・子どもの思いを受け止めましょう
- ・子どもの「遊び」を守りましょう
- ・子ども自身に乗り越える力を育てましょう
- ・子どもの「自分でやりたい」を大切にしましょう
- ・子ども同士の関わりが大切です
- ・みんなで食べると美味しいんです
- ・子どもは自然が大好きです

たくさんのご応募の中から、3つが選ばれました。

理事長賞、
順正寺こども園
子どもの「あそび」を守りましょう

副理事長賞、
ほうりんこころ幼稚園
子どもの「自分でやりたい」を大切にしましょう

副理事長賞
保育所花きゅー園
みんなで食べると美味しいんです



副理事長賞
保育所花きゅー園



副理事長賞
ほうりんこころ幼稚園



理事長賞
順正寺こども園

この大忘年会とともに、加盟園各園の子どもたちの様子を写真や動画を通して見せてもらうことが恒例となりました。それぞれ違う園に勤めていても、広島のコどもたち一人ひとりに向き合っているという点では、保育者みんなが大切な同志。大忘年会は改めてそのことを思い出させてくれる貴重な機会です。これからも加盟園同士の顔の見える関係づくりを進めて、楽しい時もしんどい時も、ともに励まし合える存在になりたいと思っています。



会の終盤では、豪華な景品をかけて大抽選会が行われました。旅行券やじゃがいも、食事券、ケーキなど、景品があたたかた方からのコメントも交えながら盛況に進みました。関係者の皆様には、たくさんの景品をご提供いただきました。誠にありがとうございました。



青年会議委員会 園見学研修

2025年1月16日
@ 保育所まこと学園

私保協青年会議では、メンバー同士の園を訪問し合う「見学会」を開催していらっしゃいます。今回は青年会議委員長の東岸昌真先生の保育所まこと学園（安佐南区伴南）で1月16日に開催された見学会を取材させていただきました。



Q: 園長先生、今日は青年会議とお邪魔しています。見学会についてどう思われますか。

東岸和子園長…よろこそ。うちは最新の施設とかでもないから恥ずかしいですね。今いるこの1号園舎っていうのは木造で、漆喰の壁で、建って25年になるんです。

Q: 木造で漆喰ですか。なんだかとてもあたたかみのある建物ですね。

園長…時代の流れで、今は私も先生たちも他の人に保育を見てもらうっていう体験が必要だと感じてるんです。園内には、人に保育を見られるのは嫌だっていう意見もあって、園内研修のやり方なんかも変えざるを得ないようなところもあつたんですけど、この見学会を一つのきっかけにできたらいいねと話して、お受けすることにしました。



Q: そもそも、青年会議のメンバーで園見学をし合うことになったのは、どういうきっかけだったんですか？

東岸…(去年の)夏ごろから始まりました。青年会議メンバーは割とよく顔を合わせるんですけど、

そう言えばお互いの園には行ったことがないよね、ってことになって。

古家…そう、お互いの園のことを、こうやって顔を合わせるけど知らないよねって、そんな感じのスタートでしたよね。そうそう。それで行ってみたら、何かこう、そのメンバーの背景とか向き合ってる問題とか、いろいろ知れるんじゃないかみたいな感じでした。

Q: なるほど、メンバー交流の一環で始まったんですね。これまではどこに行かれたんですか？

東岸…まず龍山先生の「とも認定こども園」、古家先生の「五日市いちご保育園」、あと住田先生の「みどりのもりこどもえん」、その次が「ほつりんこころ幼稚園」でした。次回は5月にSunSun保育園さんを予定しています。

Q: いいですね、この動きが続くといいですね。

東岸…青年会議のメンバーを増やしたいんで、若手の先生方が垣根なく入ってこられるようにするには、どうやったらアピールできるかなという思いもありますね。

龍山…そうですね。園見学でいろんな園を知れて、しかも、割と僕たち自身も気軽に集まって、喋って、っていう感じなので、そこがいいのかなと思ったりしますね。

東岸…そうですね。気の置けない関係だからこそ良い企画だなと。私保協の会員同士でも見学すること自体、あまり機会がないですね。理事長の福島ニール先生（みのり愛児園）と、伊藤唯道先生（順正寺こども園）と、松尾先生（みみょう保育園）くらいかな。今年、全私保連で岐阜県の保育園に行かせてもらったんですけど、県を越えた園見学ってすごい僕の中で刺激になったんです。保育園って各園の文化があって、一施設一施設全然違うので、公開保育とかでなくとも、ただ行くだけで吸収できるものがあるから、ぜひ今後も続けたいねと話しています。

古家…前回の話で出たのは、2周目はテーマを一つ決めて集まってみようみたいな話も出ましたね。





Q:テーマを決めるといのは、たとえば園庭だけに特化して見てみるとか、そういう感じですか？

東岸..そういう〇〇だけ、に特化するのでもいいかもしれないですね。あとは各園の取り組みで、たとえば記録を、どんな記録の付け方をしているのかを見るとか、そういうのも面白いかなと。実際の自園の保育につながるのいいかなと。

古家..うちの園とかは実際、この見学会に職員も連れて行くんです。帰ってから、その職員に見学した園のプレゼンをしてもらうんです。この前も「この園にはこんな裏山があったんだけど、何度も行くうちに子どもが自分で自分の命を守るようになっていくそうです」とか、発

表してました。やっぱり、場所を変えることで視点が変わるといっか、子どもの見方も変わるなあと実感します。

~~~~~

まこと学園さんの裏には子どもたちの登れる山がり、木造園舎の教室は解放感をたっぷり感じられるなど、豊かな環境が印象的でした。年長組の部屋では、コマ回しをすることもたちにつられて、青年会議メンバーが自然に遊びはじめる光景もみられました。園を見て回り、保育を見学しながら子どもたちと実際にふれあうことで、お互いにいろいろな垣根が低くなっていくのかもしれない。見学する側も、園を開放する側も、子どもをまんなかにして語り合うことが大切なのだ、改めて感じます。見学会の取り組みを通して、



子どもまんなかの優しい雰囲気、青年会議のメンバーだけでなく加盟園全体に広がっていくといいなと思います。保育所まこと学園のみなさま、ありがとうございました。

